

# 本能まちづくりニュース

第10号 平成13年9月20日発行

本能まちづくり委員会  
委員長 西嶋直和

## 本能自治連合会会長 岡山 悟

本能学区の皆様には平素自治連合会に対しご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。



さて、この度本能夏まつりを開催致しましたところ各ご町内の多数の皆様参加を得まして実に賑やかに盛り上がりました。本年は趣向を変えまして各種団体をはじめ多くのボランティアの方々に支えられての夏まつり、高校生有志のフォークソングやアマチュアのジャズバンドまた学区在住の方のマジックショー等、目と耳をはなせない舞台が一気に夏まつりを盛り上げてくれました。多くの食物やゲーム、映画、ドールハウスの展示、そしてフィナーレを飾る盆踊り等友情の輪が拡がり、時間がアツという間に過ぎました。来年は、この本能校での開催はないとの思いが大きなエネルギーとなったのではないのでしょうか。最後にあたり、お手伝いを頂きました皆様にお礼を申し上げますと共に学区民の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 本能夏まつり開催される

平成13年8月18日(土)、元本能小学校校庭において本能自治連合会、まちづくり委員会主催で本能夏まつりが開催されました。本年は、元本能小学校校庭で開催される最後の夏まつりとなるため、本能自治連合会傘下の各種団体が参加して開催されました。

実行委員とボランティアスタッフの連日にわたる周到な準備で、グラウンドには盆踊りの檣、イベント用舞台が組み立てられ、焼きそばや生ビールなど18品目の模擬店、また射的や風船つりなど



会場風景

## 夏まつり実行委員長 杉下浩教

今回、夏まつりの主催が体育振興会から自治連合会に変更されたのを機に、我々実行委員会は今までよりも、より経験豊富で、バイタリティー満ちたスタッフを迎え入れる事ができ、祭り当日の約2ヶ月前から企画会議を開いてきました。みんなが長年親しんできた元本能校で、多くの人々に楽しい“真夏の夜の夢”を創っていただきたい、という想いでスタッフは知恵を絞ってきました。多才なスタッフのお陰で、例年よりも数多くのイベントを開催することができました。子供からお年寄りまでが楽しそうに参加して下さる姿を見て、我々は地域のみんなが集えるスペースが今後にも必要であると再認識できました。



最後に本能夏まつりが盛大に開催されたのも各種団体および学区民の皆様のご協力があったからこそだと思います。この誌面をお借りしまして、関係各位の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

6種類のゲームコーナーが準備されました。一方、会議室では映画会場がセットされ、ミニチュア・ドールハウスや本能まちづくりアンケート集計結果の展示などが用意され、さらに紅白幕や提灯で、まつり情緒が高められました。

当日は、まだ西日の差す午後4時、特設舞台でオープニングセレモニーと共に本能夏まつりがスタートしました。開会直後から、ゲームコーナー・模擬店は盛況で、スタッフは調理の熱さも、忙しさも忘れて、お客さんの応対に追われました。舞台では、賑やかなバンド・太鼓の演奏や、見事な手品、豪華景品の当たる抽選会、本能マメ知識クイズや○×クイズが次々と行なわれました。耳も目も頭も使い、懐もあたたまる企画で、また、学区の皆様の日頃隠されている才能を発見する機会ともなったようです。

日が沈み提灯に灯が入るといよいよ盆踊りが始まり、老若男女が二重の輪になって盆踊りを楽しんでいました。



盆踊り風景



# 本能夏まつり風景

← 会議室では、磯村友里さん(亀屋町)作のドールハウスが展示されていました

## 特設舞台では

アマチュアバンドによるフォークソング →  
ジャズバンド ↓



↑ 奥瀬さん(三文字町)によるマジックショー  
よかろう太鼓の演奏 →



- ←
- ② 本能学区で世帯数の一番多い町内は？  
▲ 柳水町
  - ③ 本能学区でマンションの棟数が一番多い町内は？  
▲ 池須町
- とても難しい〇×クイズ。優勝者には自転車が

## グラウンドでは



↑ 揚げ物・おでんなどの模擬店や、かつおたたきの即売の賑わい

← ダーツ・輪投げ・スマートボールなどのゲームコーナー

## 本能夏まつりを手伝って

私は、本能夏祭りには参加できませんでしたが、準備作業のスタッフ T シャツ作成と本能小学校にある藤棚の清掃のお手伝いをさせていただきました。T シャツ作成、藤棚の清掃、どちらの時も、いつのまにか人が集まって作業をしているのに驚きました。外から来た私にはくわしいことは分かりませんが、みなさん「仕事も終わったし、夏祭りの準備でもしてくるかな。」といった肩の力の抜けた、自然な感じでした。作業中も冗談を言い合ったり、冷やかしたり。見ていなくてもほのぼのとしたものが伝わってきました。

京都の大学に通うために、1人暮らしを始めて3年。同じマンションにどんな人が住んでいるのかも知らず、お互い顔を合わさないようにして生活する日々。そんな生活が当たり前になっていた私にとって、近所に気の置けない人たちがたくさんいて、何かあるとみんな集まってくる。そんな生活も楽しそうだと、藤枝を運びながら考えていました。 **北川真理** (京都府立大学宗田研究室4回生)

私がドールハウスを作り始めて10年近くになりますが『作品』として意識して作ったことはありません。私の価値観で見た日常生活をそのまま縮小して表現していたら、私にとって、得難い大切な世界が生まれていたんです。ごく当たり前に思って、見過ごしている日常生活の中にこそ、一人一人が主役になって創り上げる『愛すべき世界』があるのではないのでしょうか。そして、気が付くと、暖かい地域や風習が築かれ、それを懐かしく思うことで、よりたくましく後世に受け継がれていく。幼い頃より本能学区で培ってきたエキスが参み出た私の世界を、地元の方々に見ていただけたこと、とても感慨深く思います。ありがとうございました。 **磯村友里** (亀屋町)



坂本雅彦作

ずっと本能学区におられた方、最近本能学区に来られた方、様々な人との交流という意味で、本能夏まつりは、大変意味があったと思います。そしてそのイベントにスタッフとして参加出来たことをうれしく思っています。それと同時に、本能小学校がなくなってしまう事が残念です。

個人的には地域に密着した商売をしているため、学区にお住まいの方々とこういった形で交流できるのは、大変ありがたいです。もし、別の場所でもこういったイベントが開催出来るのであれば、うれしく思います。その時はまた、スタッフとして参加したいと思っております。 **坂本雅彦** (壺屋町)

## 歩いて暮らせる街づくり

まちなかを歩く日 11月17日(土)～18日(日)に決定

染めのまち本能

公開工房開催!! みなさまのご協力をお願いします

当日飛び入り大歓迎

本能まちづくり委員会の次回開催日

平成13年10月1日(月)午後7時より

ばしょ: 本能自治福祉会館2階 小川通蛸薬師下ル

## 編集後記

町内では朝から地蔵盆をされているところもあり、世話役の皆さんには大変お忙しい一日だったと思いますが、子供から大人まで、世代をこえて楽しめた集いでした。皆様、ご苦労様でした。 N 村

本能まちづくりニュース第10号の発行が大変遅れてしまいました。今日、夏まつり開催の合わせてお届けすることができました。老若男女、みんなが楽しめる夏まつり、これが本能のよさではないでしょうか。今一度再認識しました。 M.O.